



当会が参画したポスターが DIA 日本年会でベスト ポスター賞を受賞しました

タイトル:「カナダ、アメリカ、日本のファブリー病女性における経験と医療ケアについての調査」

この度、当会をはじめ4つのファブリー病患者支援団体とアミカス・セラピューティックス社が共同で作成したポスターを DIA 日本年会にて発表し、ベスト ポスター賞を受賞しました。当会の郭育子理事が共著者として参画しました。当日はアミカス社ペイシャントアドボカシー部門の後藤氏が著者を代表して発表しました。

2025年2月の米国ワールドシンポジウムで発表した内容をもとに DIA 用のポスターを作成しました。口頭でのポスター発表では、かつてファブリー病では女性は保因者であり発症しないと考えられていた経緯と女性が感じている男性との医療格差や内部障害に対する不理解がもたらす精神的な負担、さらに米国・カナダと比較して日本で求められる女性の役割と遺伝性疾患に対する社会の偏見が大きなストレスとなっていることに焦点をあてて発表しました。聴講者はうなずきながら熱心に聞いてくださり、手ごたえを感じました。

授賞式で、ベスト ポスター賞は DIA 事務局と参加者の投票で決まり、ポスター部門の中では最も高い賞であることがわかりました。今回の受賞理由として以下のように説明されました。

- 患者会との共同による質の高い調査であった
- ファブリー病の女性が抱える特有の問題と原因が明確に示されていた
- 「多くの人が知ることで、医療格差と社会の偏見の無い明日を患者さんに届けたい」という発表者の意図が DIA 年会のテーマにベストマッチしていた

この調査に協力いただいたふくろうの会の会員の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。

DIA とは、医薬品、医療機器、再生医療製品をはじめとする医療用製品の研究開発、ライフサイクルマネジメントにおけるイノベーションの実現をサポートするために教育活動および規制当局・企業・アカデミア・患者との間の立場を超えた情報交換やディスカッションの場を提供するグローバルな非営利団体です。世界中で創薬、開発、薬事、安全性、PM、DM、統計など様々な専門分野の専門家、一万数千名の会員を有しています。詳しくは <https://www.diajapan.org/about-us/> をご覧ください。

以上

